

令和7年度 名古屋市シルバーハウジング生活援助員派遣事業 事業報告

1. 事業内容

- ・「名古屋市シルバーハウジング生活援助員派遣事業にかかる業務委託契約」を受け、「シルバーハウジング生活援助員派遣事業実施要綱」に基づき、生活援助員を配置した。
- ・生活援助員の勤務時間外や夜間は、株式会社あんしんネット21との「シルバー住宅の緊急通報等にかかる夜間対応業務委託契約」に基づき、対応した。

2. 業務内容

住宅の1室に生活相談室を設け、生活援助員を月曜日から金曜日まで配置し入居者の様々な相談等に応じるとともに安否の確認などを行なった。

- ・戸別訪問等による安否確認・状態把握・対応
- ・日常の心配事の相談
- ・緊急通報装置によるかけつけ業務及び確認・対応
- ・急病時・緊急時の家族・病院などへの連絡調整
- ・緊急時（入院時・退院直後など）の一時的な生活援助
- ・定期的・長期的な介護が必要な場合には関係者・専門機関への連絡調整
- ・事故予防などの助言（戸締り・火気の後始末・災害・室内の危険箇所の周知など）
- ・事務の記録・名古屋市への入居者に関する調査・報告・連絡などの業務協力

3. 運 営

(1) 援助員構成

非常勤職員6名（1街区2名、4街区2名、9街区2名）

(2) 勤務体制

平日（月～金） 10:00～16:00

各街区1人勤務の交代制

<平日（土・日・祝 以外）>

0:00	10:00	16:00	0:00
「安心ネット21」にて対応	生活援助員対応	「安心ネット21」にて対応	

<土・日・祝・年末年始>

0:00	0:00
「安心ネット21」にて対応	

(3) 会 議

会議名	内 容	実 施 日	構 成
シルバーハウジング 援助員会議	業務に係る情報交 換・報告・検討	令和7年2月に実施 援助員内で調整	全シルバー援助員 担当職員（荘）

4. 入退居状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
入 居	0	0	7	0	3	0	0	0	3	0	0	0
退 去	1	0	0	0	1	1	1	0	0	0	1	0
入居総数	70	70	77	77	79	78	77	77	80	80	79	79

1街区C棟15戸・D棟14戸、4街区A棟16戸・B棟14戸、9街区D棟20戸・E棟9戸（E棟は令和7年9月～）
全88戸（1人暮らし66戸、2人暮らし13戸、空室9戸）

5. 月別実施状況

内 容		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
生活指導・相談	在宅福祉・地域福祉について	1				4		1						6
	生活環境について	2				1				1				4
	住居について													0
	施設入所について													0
	家族関係について													0
	健康について													0
	その他	2	1	6	4		2	2	2	3	1	3		26
家事援助	買物	1	1	2	3						1		2	10
	調理		2		1			1	1					5
	掃除													0
	洗濯		1	2			1		1	1	1	1	2	10
	その他 (湯を沸かす、洗濯取り込み等)	9	4	1	1	9	4							28
日常支援		11	9	15	7	9	10	10	9	5	8	10	14	117
緊急通報	急病	1	1											2
	転倒				4									4
	誤報	3			1	1	2	2	4	2	1	3	5	24
	水センサー	1	1					2	1	1		3	1	10
	その他(電池切れ等)	2	2	2	1	3	1	1	5					17
安否確認	戸別訪問及び洗濯干し確認 (緊急通報以外)	935	912	947	1045	956	936	1107	878	956	875	846	952	11,345
関係先連絡		14	16	31	31	25	38	26	29	33	18	13	24	298
緊急時の対応		1		1			1		1					4

6. 実施内容

＜主な生活指導・相談内容＞

- ・高額療養費、家賃の収入申告・減額申請、源泉徴収票再交付申請、市県民税申告書、国勢調査、介護保険申請、公共料金等の制度や通知内容、記入方法などについて説明
- ・名古屋市エアコン取り付け事業について説明、申請手続き援助
- ・身元保証、保証人について、退院後の生活について、使用後の乾電池処分方法

＜主な一時的家事・生活援助＞

- ・調理、食材仕分け、食器洗い、洗濯(洗濯機、コインランドリーで洗濯)、買い物、冷蔵庫内の片づけ

＜日常支援＞

- ・季節家電の取り出し、組み立て、収納。購入した家電製品の説明、ゴミの仕分け、搬出手伝い
- ・電池、電球、蛍光灯の取り換え、蛍光灯スイッチの紐交換
- ・家電操作、衣服着脱の介助、郵便物の取り入れ、整理、投函
- ・引き戸調整

＜緊急時の対応＞

- ・援助員が入居者宅を訪問すると、室内で仰向けで倒れている。意識あり、右手の痺れと動けないとの訴えあり。本人から救急車の要請あり、119番通報し次男宅へ連絡を入れる。症状から救急隊の判断で藤田医科大学病院に搬送された。

＜その他＞

- ・入居者からの相談には、随時、対応・助言し、関係機関(民生委員・ヘルパー事業所・業者・住宅公社)への連絡調整に努めた。
- ・対応が困難な依頼事項(住宅の管理や修理、救急車の同乗等)は、親族やヘルパー・業者・住宅公社に対し、連絡調整を行なった。
- ・民生委員、ケアマネージャー、訪問介護員(ヘルパー)等と情報を共有し、協力体制をとりながら見守り・援助を行なった。

